

福祉

心だご



No.13

平成19年6月5日発行

いきいきにこご深山亭

主な内容

社会福祉法人飛騨市社会福祉協議会 事業計画	
一般会計予算	2~3
トピックス	4
飛騨市結婚相談所のご案内	
新任職員紹介	5
飛騨市心配ごと相談所のご案内	6
弁護士による無料法律相談のご案内	
寄贈御礼	7
給食サービス	8
日常生活自立支援事業	9
寄付御礼	10



河合地区給食サービス

■発行/飛騨市社会福祉協議会 〒509-4221 飛騨市古川町若宮二丁目1番66号 古川町総合会館内 TEL <0577> 73-3214

■印刷/有限会社村坂印刷 〒509-4245 飛騨市古川町幸栄町7-30 TEL <0577> 73-3330

※この機関誌は、赤い羽根共同募金の配分により発行しています



平成十九年度 社会福祉法人
飛騨市社会福祉協議会

事業計画

一、活動基本方針

社会福祉法人 飛騨市社会福祉協議会が、合併してから三年が経過しました。

合併後、それぞれの地域での福祉サービスを低下させることのないよう、努力して参りました。今後も社会福祉は「個人が人として尊厳をもって家庭や地域の中で、その人らしい自立生活が送れるように支える」という基本理念の基に、誰もが、住み慣れたこの飛騨市で過ごしていくためには、どのようなサービスがあれば良いかを、自分たちの将来の事として捉えることが必要であると思います。

少子・高齢化等、社会情勢の変化に伴い、平成十二年六月に改正された「社会福祉法」において、市町村の社会福祉協議会は「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」であると明確な位置づけがされ、住民参加の地域福祉の推進を支える中核的な存在として大きな役割を担うことになりました。地域で共

存する社会づくりを目指した事業活動の推進に努めることが規定されています。

しかし、近年、社会福祉協議会の存在意義と社会的な役割が問われる時代となっていることから、今後の「社協のあるべき姿」を追求して活動していきたいと考えています。

社会福祉協議会としての組織基盤や財政基盤の安定強化を図り、福祉活動やボランティア活動の推進、各種福祉サービスや福祉情報の提供、相談事業の充実に努め、多様化する福祉ニーズに柔軟に即応できる体制作りを図り、新しい時代の要請と地域の特性に合ったきめ細かな福祉サービスを提供することが必要であると考えます。

この飛騨地域に根ざした互助の福祉精神を大切にしながら、地域での総合的な生活支援を展開するため、行政と市社協の連携、民生委員児童委員との連携を通じて、組織体制の強化を図らなければなりません。

介護保険法の見直しをはじめ障害者自立支援法等の法整備が進み、いよいよ社会福祉の基礎構造改革が本格化し、福祉サービスは、「措置」から「利用者主

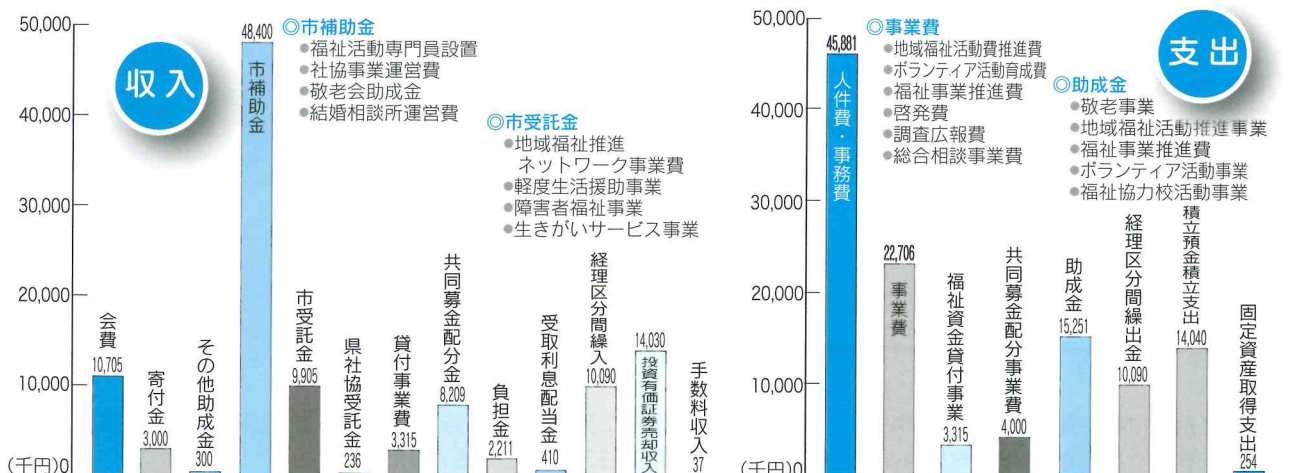
体の選択に基づく利用」が基本となっております。社会福祉協議会としては、小地域の住民福祉活動やボランティア活動、住民参加による福祉サービスなどのソフト面を積極的に組織・開発することが必要となります。

生活に密着した地域社会において、住民が自主的な福祉活動を継続的に行うことができるような基盤を作り、地域の実情をよく把握した上で創意工夫し、公私の福祉サービスが総合的に提供されるよう努めたいと思います。そのために、地域の福祉・生活課題を把握するための実態調査により必要とされる福祉サービスの提供を検討するため地域福祉活動計画を策定していきます。

市内の様々な団体の参加という社会福祉協議会の特性を生かした福祉コミュニティづくり等、地域の方々に積極的に関わっていただきながら「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり」、「心と心がふれあう福祉のまちづくり」を目指して取り組んでいきたいと思えます。

平成 19 年度 一般会計予算

総額 115,537千円



主な事業内容

(1) 地域活動推進事業

- ・地域福祉活動推進事業（町内 43 行政区）各区における福祉事業の推進～古川町
（福祉サービス等に関する勉強会、介護方法の学習会、一人暮らし、老夫婦世帯の雪下ろしや慰問活動）
- ・福祉協力員による見守り活動～神岡町
- ・各地域公民館の福祉活動に関する助成
- ・地域での福祉活動に対しての助成～河合町、宮川町
- ・要援護者及び家族支援のための地域住民・諸機関・団体及び行政等のネットワーク体制の確立
- ・各地区でのふれあいいきいきサロンへとつなげる

(2) ボランティア事業・育成事業の推進

- ・ボランティアの活動基盤の強化
- ・飛騨市ボランティア連絡会の組織化
- ・ボランティア入門講座
- ・災害救援ボランティア講座
- ・ボランティアフェスティバルの開催
- ・市内ボランティア団体等の交流事業
- ・ボランティア情報誌の発行

(3) 福祉協力校事業

- ・市内の小中高等学校及び保育園を福祉協力校として指定
- ・ワークキャンプの開催
（夏休みを利用した社会福祉施設体験学習）
- ・総合学習への協力
（車いすの体験やインスタントシニアの体験等）
- ・点字教室や手話講習会の講師派遣調整

(4) 老人福祉事業

- ①一人暮らし老人交流会（1泊2日の交流会）
- ②老夫婦世帯・一人暮らし老人ふれあい懇談会の開催
- ③一人暮らし老人、老夫婦世帯宅への給食サービス
- ④介護機器の貸し出し
基本的に介護保険で認定を受けられた方は、民間事業所のレンタルを利用して頂きますが、介護保険に該当しない骨折だけの方や障害者の方を対象に貸し出しをしていきます。
- ⑤家族介護者交流事業
在宅での介護者の方が、日頃介護されている上での悩み事などを気軽に話し合い、心の中にある不安を少しでも解消し、リフレッシュして頂ける内容にしていきたいと考えています。
- ⑥一人暮らし老人宅の防火点検（飛騨市消防本部、中部電力、北陸電力、北吉城ガス組合の協力）
- ⑦敬老会助成事業

(5) 障がい者福祉事業

- ①友和会・手をつなぐ親の会への助成
- ②視覚障がい者の方へ声のサービス
視覚障がい者の方に「広報 ひだ」、「くらしと県政」、「福祉ひだ」をテープに吹き込んで聞いていただく。
- ③障がい児日中一時支援事業
障がい児の放課後、日中一時支援事業を継続して実施します。

(6) 児童福祉事業

- ①児童の健全育成のため関係団体との連絡強化
- ②保育園の地域交流活動の協力と支援

(7) 母子・父子福祉事業

- ①児童・生徒お楽しみ会への協力
夏休みに開催される日帰り旅行へ助成
- ②小学校入学・卒業祝い、中学校卒業祝い

母子・父子家庭の児童生徒で小学校に入学及び卒業、中学校を卒業される方にお祝いを贈る。

(8) 飛騨市健康と福祉のつどい開催

今年度も「飛騨市健康と福祉のつどい」を市と共催で実施します。児童・生徒として、ワークキャンプや給食サービスに参加した感想や将来どうありたいか等についての意見と、福祉にまつわる標語の募集をし、各学校で選抜された方に発表していただきます。

(9) ふれあいのまちづくり事業（地域福祉ネットワーク事業）

- ・弁護士による無料法律相談 10 回実施
- ・各地区での心配ごと相談の実施（電話相談も実施）
- ・民生委員・福祉協力員等により一人暮らし高齢者等の見守り活動の充実を目ざし、神岡町では「かたらい」を、古川町では「たすけ愛」、河合町、宮川町では「ぬくもり」を月 1 回発行します。

(10) 市受託事業

- ①高齢者生活支援（軽度生活支援）事業
- ②生きがいデイサービス事業
- ③育児支援家庭訪問事業
育児に問題のある家庭に、育児の経験者を派遣し相談ののったり、援助をします。
- ④脳の健康教室事業
この事業は、簡単な読み書き、計算をすることにより、脳を活性化させ、認知症予防に役立てる事業です。半年間の予定で、毎週 1 回、学習サポーターと参加者を募集して実施します。教室は古川と神岡の 2 会場を予定しています。

(11) 福祉資金貸付事業

- ①低所得者の福祉向上を図るための実態調査、自立支援
- ②生活福祉資金の活用と自立指導

(12) 団体事務

- ◎飛騨市民生委員児童委員協議会
- ◎飛騨市各单位民生委員児童委員協議会
- ◎飛騨市ボランティア連絡会
今年度は、民生委員児童委員の 3 年に 1 度の改選期にあたるため、役員の改選や、引き継ぎ等がスムーズに実施できるよう事務局として援助していきます。

(13) 共同募金運動の推進

- ①赤い羽根共同募金運動 10 月 1 日から 12 月 31 日
- ②歳末助け合い募金運動 12 月 1 日から 12 月 31 日
募金運動においては、市民皆さんの格別のご協力によりまして、昨今の不況にもかかわらず、毎年、多大な成果を上げています。本年度も、会社等への依頼文の郵送などにより、より積極的な募金運動が展開できるよう取り組んでいきたいと考えています。

(14) 結婚相談所事業の推進

今年度は、『大人の自立講座』を結婚相談所で実施することとなりました。独身男性の自立研修として講師をお願いして実施します。飛騨市結婚相談所として 15 名の結婚アドバイザーによる相談体制の確立を図るとともに、アドバイザーによる相談は継続しながら、行政からの委託金を是非、獲得しイベントの提案、実施につなげていきたいと考えています。

(15) その他の事業

- ①広報誌「福祉ひだ」の発行年 4 回
- ②地域福祉活動計画の策定 平成 18 年度から 19 年度
- ③日常生活自立支援事業の推進



トピックス



災害ボランティア講演会



3月7日、宮川町老人福祉センターと神岡町公民館において、災害ボランティア講演会を開催しました。講師に大阪ボランティア協会 理事・事務局長の早瀬 昇先生をお招きし、「災害時の住民の役割」と題して講演いただきました。早瀬先生は、阪神・淡路大震災での経験より、ボランティアは公の機関ではなく様々な人が集まるので、多彩な思いつきから個別のニーズに対応でき、全ての人に公平ではない代わりに温かみのある活動ができるということ、いざという時に連携をとるためには、日頃からネットワーク（面識）を作っておくことが大切だと話されました。

それぞれの会場で聴講された方は、黒板を使ったわかりやすい講演を終始顔きながら聴かれており、「90分の講演時間があつという間だった。実際に経験された話なので共感できた。」と話しておられました。

3月28日、29日に神岡町船津（花園町）にある深山亭において深山亭事業実行委員会（横川奎二会長）が「いきいきにここに深山亭春休みスペシャルを実施しました。

深山亭は元料亭で築72年の経過した木造家屋で、現在は市が管理しています。今回は高齢者、大人、子供が一所に集まり交流し触れ合ってもらおうと企画しました。

会場では、双葉保育園の園児による呈茶、マリンバアンサンブル（上休場俊子代表）によるマリンバ演奏、絵本の会による紙芝居や子供と遊ぶコーナー、こだまグループによる昔の遊びのコーナー、囲碁教室、池坊つつみ草の会によるミニ生け花制作コーナー、寺田喜太郎さんのなわなない教室、神岡地区民生委員児童委員協議会による輪投げ、落書きせんべいコーナー等協力団体や個人有志の協力により大盛況で2日間に約800人の方が訪れ、広い玄関は履き物を置くことができないほどでした。来場者からは「すごく楽しかった」「またやってほしい」「神岡にはこのような場所が少ないのでうれしい」と話されていました。

いきいきにここに深山亭



神岡地区春期防火点検

神岡町において、3月1日、殿本町、弥生町、吉田、袖川の一人暮らし高齢者等12世帯を対象に春期防火点検を実施しました。

これは、神岡消防署、北吉城ガス組合、北陸電力（株）、民生委員の皆さんにご協力をいただき、火災の危険要因を取り除くために実施しているもので、春と秋の火災予防運動期間に合わせて神岡町の地区を順番にまわっています。

対象者宅を巡回訪問し、それぞれの専門家が火の元やガス、電気器具等を点検するので、最初は大勢での訪問に驚かれますが、無事に終わった後は安心してみえました。

飛驒市結婚相談所

「結婚をしたいけど、出会いがない」「今年こそは・・・」とお考えの皆さんに、飛驒市社会福祉協議会では、そんな相談を気軽にしていただけるように「結婚相談所」を開設しています。

古川町総合保健福祉センター			神岡振興事務所		
月	日	時間	月	日	
6月	6日(水)	①	6月	6日(水)	水曜日 午後1時～午後4時まで
	15日(金)	②		17日(日)	
	23日(土)	③	7月	4日(水)	日曜日 午後6時～午後8時まで 1階 第3会議室
4日(水)	①	15日(日)			
15日(日)	②	8月		1日(水)	
28日(土)	③		19日(日)		
8月	1日(水)	①			
	25日(土)	③			

①午後1時～午後4時まで (ボランティアルーム)
②午後6時～午後8時まで (2階 相談室)
③午後1時～午後4時まで (2階 相談室)

相談所電話番号 (相談日のみ) 0577-73-6483

アドバイザー名簿

西本光隆	蒲田恵子	稲田行雄	井口昌子
堀之上節子	板屋さと枝	谷口美枝	池水啓子
三嶋喜代男	垣内和義	和仁憲一郎	下出愛子
竹之内志げ		大前一壽	中谷博幸

※秘密は、厳守します。お気軽に、ご相談下さい。詳しいことは、飛驒市社会福祉協議会事務局 電話(0577-73-3214)まで、お尋ね下さい。

独身男性研修

5月5日(土)～6日(日)飛驒市社会福祉協議会主催で「change myself カレッジ」(独身男性研修)が行われました。これは、市内在住の独身の方を対象として実施しました。

講師にトータルキャリアネットワークブルーの吉村致佳先生をお招きして、自分を見つめ直し、第一印象より良くするためにはどうしたらよいか、会話の内容より話し方や態度などがコミュニケーションの場面で重要であることなどを学習されました。2日目は実際に女性とマン・ツーマンで会話する姿をビデオで撮影し本人の話す姿を参加者全員で検討し、その人のクセなどを見つけ出しました。参加者の皆さんは真剣な面持ちで初めて見つめる自分の姿を目の当たりにしてショックを受けると共に自己改善していこうという決意をされていたようでした。

新任職員紹介 橋詰 貴子



今年度より飛驒市社会福祉協議会に勤めさせていただくことになりました、橋詰貴子と申します。3月まで保育士として勤めさせていただいておりました。まだまだ慣れない毎日ですが、地域に暮らす皆様が安心して生活する事のできる「福祉のまちづくり」を目指し、微力ながらも一生懸命努力していきたいと思っておりますので、皆様のご指導をよろしくお願い致します。



飛騨市心配ごと相談所

暮らしの中での身近な心配ごと、悩みごとの相談日を設けています。相談員は主に民生委員児童委員や人権擁護委員、行政相談員で費用は無料です。相談内容の秘密は守られますので、お気軽にご利用ください。

相 談 日	開 設 場 所	時 間	相 談 員
6月	8日(金)	神岡振興事務所 第3会議室	午後6時～午後8時 中澤 靖 鳥羽 敬子
	10日(日)	ハートピア古川	午前10時～正午 岩佐 博明 天木 喜代 下出 弘幸 人権擁護委員
	13日(水)	友雪館	午後7時～午後8時30分 松田 弘 堀脇ふで子
	15日(金)	宮川町保健センター	午後1時～午後4時 宮前 久衛
	24日(日)	神岡振興事務所 第3会議室	午前10時～正午 横川 奎二 黒川 照子
	25日(月)	ハートピア古川	午後1時30分～午後3時30分 岩佐 博明 天木 喜代 下出 弘幸 人権擁護委員
7月	10日(火)	ハートピア古川	午前10時～正午 袖村 正 竹之内志げ 下出 弘幸 人権擁護委員
	11日(木)	河合町公民館	午後7時～午後8時30分 政木 茂 岩佐 恵子
	13日(金)	神岡振興事務所 第3会議室	午後6時～午後8時 宮津 敬次 鳥羽 敬子
	20日(金)	宮川町保健センター	午後1時～午後4時 水畑 實
	25日(水)	ハートピア古川	午後1時30分～午後3時30分 袖村 正 竹之内志げ 下出 弘幸 人権擁護委員
	29日(日)	神岡振興事務所 第3会議室	午前10時～正午 中澤 靖 黒川 照子
8月	8日(水)	レジェンドあすか	午後7時～午後8時30分 古井 榮市 松井 新吉
	10日(金)	ハートピア古川	午前10時～正午 井之口藤男 古田 久江 岩佐 英夫 下出 弘幸 人権擁護委員
		神岡振興事務所 第3会議室	午後6時～午後8時 横川 奎二 蒔田ソデ子
	17日(金)	宮川町保健センター	午後1時～午後4時 藤白 昭一
	25日(土)	ハートピア古川	午後1時30分～午後3時30分 井之口藤男 古田 久江 石原 典子 下出 弘幸 人権擁護委員
	26日(日)	神岡振興事務所 第3会議室	午前10時～正午 宮津 敬次 黒川 照子

弁護士による 無料法律相談

期 日 平成 19 年 6 月 21 日(木) (ハートピア古川)
7 月 19 日(木) (神岡町福社会館)
8 月 23 日(木) (ハートピア古川)

時 間 午後 1 時 30 分～午後 4 時 30 分(1 回あたり 6 名まで)

相談員 阪下 六代 弁護士

相談は無料

- ※希望される日を電話でお申し込みください。
- ※申し込み順に時間を決定させていただきます。
- ※先着順に受入れいたします。
- ※定員を超えた場合は次の月にお願いすることがあります。



申込先 飛騨市社会福祉協議会
(0577) 73-3214 (担当 圓山)



寄贈

飛騨市ボランティア連絡会(川上 菫会長)より、ボランティアフェスティバルにおけるチャリティバザー収益金から、高齢者疑似体験用のおもり付きベスト(5着)、イヤーマフ(5個)を寄贈していただきました。

今後は、福祉学習会、各地域、ボランティア団体などでの、高齢者疑似体験教室などに使用していきたいと思っております。

給食サービス

古川地区給食サービス

2月15日、古川町朝霧連合会（下田久太郎会長）による給食サービスが行われ、配達も会員の皆さんにして頂きました。

また、2月24日には、古川栄養士会（牛丸貴美子会長）、3月8日と5月24日には、くちなしの会（岡部せつ子会長）5月12日には、古川栄養士会（布施澄子会長）による給食サービスが行われました。お弁当は、配食ボランティアのランチボックス（川上菖会長）の方に配達をしていただきました。

旬の素材を使用し、彩りもよく、栄養のバランスを考えたメニューで、心温まるお弁当に仕上がりました。



神岡地区食事サービス

毎週金曜日になずな会（若田幸子会長）による食事サービスが行われています。3月2日（金）は、ひな祭りにちなんでちらし寿司やひなあられの入った「ひな祭り弁当」を作られました。寒い日の続く3月でしたが、少しでも春の訪れを感じられるような色遣いのお弁当でした。配達はぬくもり会と個人配達ボランティアの方々によって一人暮らしのお年寄りの方々に届けられます。先日、日頃食事サービスを利用されている方々にアンケートを実施しましたが、「季節感あるおいしいお弁当をありがとうございます。」「毎週弁当の配達を楽しみます。」など大変励みになる回答をいただきました。

宮川地区給食サービス

3月13日・4月11日・5月8日に宮川あじさいの会（野村志賀子会長）による給食サービスが行われましたが、新しい会員も増え、活気あふれる中でのスタートとなりました。どのお弁当も色どりよく出来あがりでしたが、5月はあずき菜やこしあぶら（こんてつ）、くごみ等の山菜もメニューに加わりました。お弁当は宮川地区の民生委員と配達ボランティアの方々によって、ひとり暮らしのお年寄りの方々に届けられ、受け取られた方々は季節感あふれるお弁当に「いつもおいしいお弁当をありがとうございます」と喜んでみえました。



河合地区給食サービス

2月28日・3月14日・4月18日・5月2日に河合町福寿草の会（下堂前ハナエ会長）による給食サービスが行われました。いずれのお弁当も栄養のバランスが考えてあり、4月や5月はくごみや春キャベツなどを使った季節感のあるメニューでした。また、毎回手作りのデザートが付き、品数も多く、受け取られた方は「毎回毎回おいしいお弁当をありがとうございます」と喜んでみえました。お弁当は河合地区の民生委員児童委員によって届けていただきました。

配達ボランティア募集

古川町で、給食サービスを希望された一人暮らしのお年より宅へ、お弁当を配達していただけますか？
年間21回、昼食または夕食の配達です。1回、1時間程度の活動です。

運転免許をお持ちの方なら、どなたでも結構です。

神岡地区でも募集を行っております。麻生野付近や小萱付近を配達していただける方を重点的に募集しています。毎週金曜日が配達日です。

ボランティアの申し込み・お問い合わせは、

飛騨市社会福祉協議会（担当 福田） 電話（0577）73-3214 まで、ご連絡下さい。

住み慣れた地域で安心して暮らすために

日常生活自立支援事業

これからの福祉サービス利用の基本は、自らの意思で必要なサービスを選び、サービス提供事業者と対等な関係で契約を結ぶことです。

しかし、自分の判断能力に不安のある方は、例えばどんな福祉サービスがあるのか、どうすればそのサービスを利用できるのか、様々な場面で判断に迷い、適切なサービスが利用できない場合があります。また、毎日の暮らしに必要なお金の出し入れに困ったり、訪問販売による高額な物品の購入のトラブルに巻き込まれることも想定されます。日常生活自立支援事業は、個人の尊厳と利用者自身の意思決定を保持し、福祉サービスの利用手続きや、金銭管理を援助することによって、だれもが住み慣れた地域であんしんして暮らせる福祉のまちづくりを目指しています。

◎このようなことでお困りではありませんか？

- 福祉サービスを利用したいが、利用申し込みの方法がよくわからない。
- 介護保険の要介護認定の申請手続

きを手伝って欲しい。

- 福祉サービスの利用料金の支払いをしてほしい。
- 預貯金の出し入れや公共料金の支払いを手伝って欲しい。
- 一人暮らしなので、通帳や印鑑を家においておくのが不安である。
- 利用している福祉サービスに不満があるが、どこに相談すれば良いかわからない。

◎どのような人に何をしてくれるのですか？

認知症の高齢者や知的・精神に障害のある方で、一人で生活しているのが不安な方に、安心して生活が送れるように次のお手伝いをします。

- 福祉サービス利用料の支払い
- 福祉サービスの情報提供
- 福祉サービスの利用手続きの援助
- 年金や福祉手当の受領手続き
- 医療費や税金、公共料金の支払い手続き

- 日常生活に必要な預貯金の払出

◎どういう手続きで誰がお手伝いしてくれるのですか？

相談をされますと、飛騨地域福祉サービス利用支援センター担当職員が、ご自宅までお伺いし、面接をさせていただきます。利用される方のご希望や、状況を伺いながら「支援計画」を作成し、契約を結びます。お手伝いは、この支援計画に基づいて生活支援員が行います。

◎利用料は必要ですか？

相談は、無料です。生活支援員によるお手伝いと書類等の預かりは有料です。

利用料は1回1時間につき1,000円です。それ以上は30分ごとに500円増しです。書類や通帳等の保管は1ヶ月につき500円です。

◎利用手続きはどうすれば良いのですか？

お住まいの地域の社会福祉協議会（飛騨市社会福祉協議会）にご相談下さい。ご本人からの他、ご家族、ご親戚の方からの相談にも対応します。飛騨地区福祉サービス利用支援センターの専門員が訪問し、日常生活でのお困りごと等の相談に応じます。

◎安心してご利用いただくために

このサービスの実施にあたっては、利用者の意思や契約する能力を

審査するための契約締結審査会、提供の適正さを監督するための運営適正化委員会（運営監視合議体）を設置しています。これらの機関は、法律、医療、福祉の関係者で構成されています。

飛騨地区福祉サービス利用支援センター

●高山市社会福祉協議会

高山市昭和町2-68-1

高山市総合福祉センター内

電話0577-3510294

●飛騨市社会福祉協議会

飛騨市古川町若宮2-1-66

古川町総合会館内

電話0577-7313214





大自然の中で新しい出会いを見つけませんか?

「結婚に今一步踏み出せない」「いい出会いがない」と悩んでいる方たちをサポートしたいと、7月にイベントを開催することが決定しました。
一流シェフによるアウトドア料理やそば打ち体験など気軽に楽しめる内容が盛りだくさん!
申し込みは女性の方のみ受付中です。男性は飛騨市内及び富山市の男性が参加される予定です。
お気軽にお問い合わせ下さい。

- 開催日** 平成19年7月14日(土)~15日(日) 1泊2日
- 会場** ナチュラル宮川 (飛騨市宮川町)
- 募集人数** 10名 ※女性限定
- 参加費** 8,000円
- 年齢** 25歳~40歳前後の方
- 申込方法** メールまたは電話にて受け付けます
E-mail : hidasyakyo@cocoa.ocn.ne.jp
☎(0577) 73-3214
飛騨市出会いキャンプ実行委員会 (飛騨市社会福祉協議会)

編集後記



平成十九年度も始まって二ヶ月が過ぎました。今年は昨年とは替って雪の少ない冬となり比較的過ごしやすくなり、冬となりました。とはいえ飛騨の冬は厳しく春が待ち遠しく感じています。また、気温も上がり暖かな陽気が戻ってきて、春の訪れを感じます。

飛騨市が合併して三年が経ち、同時期に社会福祉協議会も合併して三年が経ちました。これまでも各地域における地域福祉組織づくりや食事サービスの全地域での実施など地域住民の皆様の福祉のまちづくりを支援して参りました。今年度は独身男性研修や出会いイベントなど、飛騨市が掲げる「子育て環境日本二」向け子育ての前段階である「結婚」についても力を入れていきます。

また、これまで同様高齢者の生活支援、市民の皆さんの安心安全で住みよいまちづくりのための活動に関係機関と連携して事業を展開してまいります。また、市内各学校・保育園等の福祉教育に対しても支援を行い、次の世代を担う若者が福祉に関心を持ってもらえるよう支援していきたくと考えています。

寄付

- ご寄付いただきありがとうございます。
平成十九年二月七日~五月二十五日受付分
- ◎本光寺仏教婦人会様 (古川町) 一〇,〇〇〇円
 - ◎古川営林署OB有志の会 代表 大久保 茂秋様 (古川町) 七〇,三三三円
 - ◎渡辺喜美子様 (神岡町) 三〇〇,〇〇〇円
 - ◎山下 常夫様 (古川町) 五〇,〇〇〇円
 - ◎小谷 耕平様 (古川町) 一〇〇,〇〇〇円
 - ◎茂角 正延様 (神岡町) 一〇〇,〇〇〇円
 - ◎橋本 正人様 (神岡町) 室内遊具等
 - ◎松葉 峯治様 (東京都) 二〇〇,〇〇〇円
- お詫びと訂正
2月16日に発行しました福祉ひだ No. 12の16ページ「神岡中学校吹奏楽部定期演奏会で『募金箱』設置」の中で間違いがございましたので、お詫びし訂正いたします。
- (正) 蒔田萌佳さん
 - (誤) 蒔田蒔佳さん